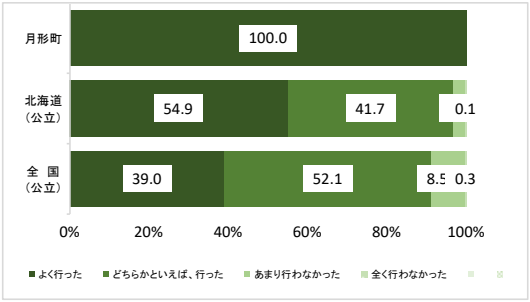
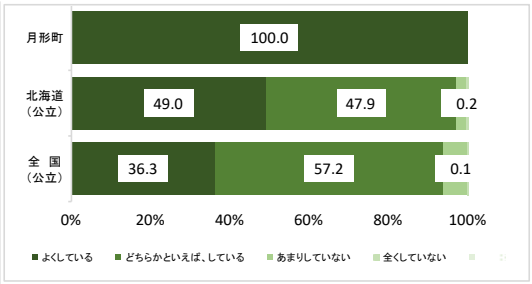
○ 質問調査の状況

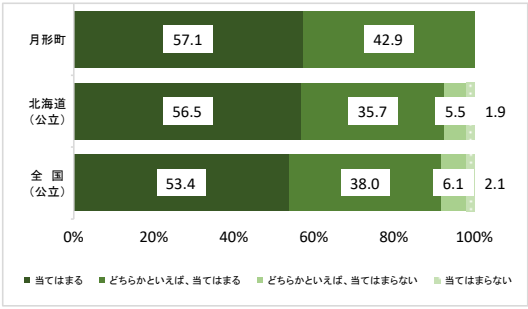
小学校
＜学校質問＞
調査対象学年の児童に対して、前年度までに家庭学習について、児童が学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか



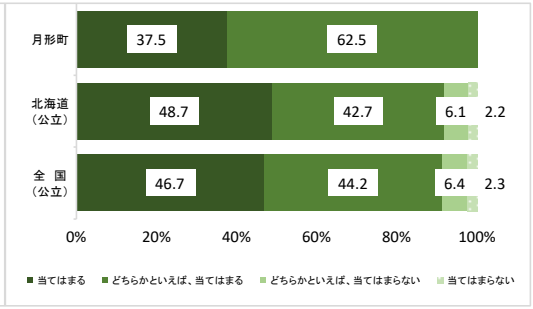
中学校
＜学校質問＞
調査対象学年の生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか



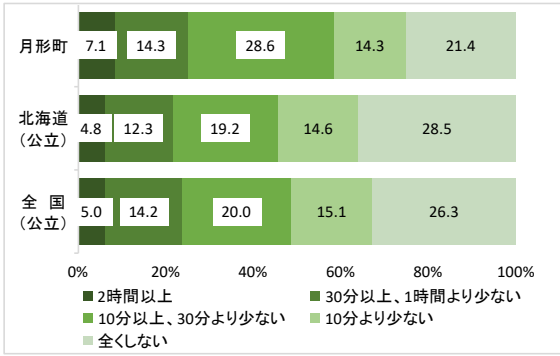
小学校
＜児童質問＞
先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。



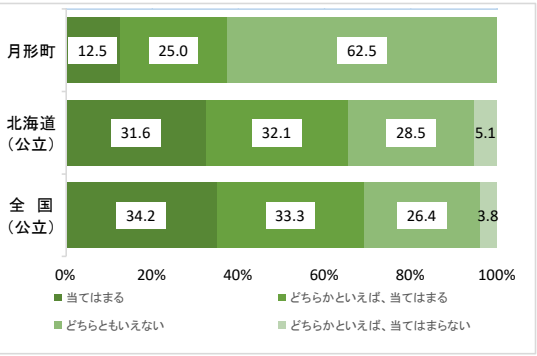
中学校
＜生徒質問＞
先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。



小学校
学校の授業以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか



中学校
あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか



○ 調査結果の分析

・【小学校】
「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」の質問に肯定的に回答する児童が100%に達しており、主体的に学ぶための土台となる良好な学習環境が形成されている。こうした環境を背景に、国語・算数の平均正答率は全国・全道平均を大きく上回った。また、算数専科教員の配置等により、算数の基礎的な知識・技能が高い水準となっている。

・【中学校】
国・数・英それぞれ全国、全道平均を大きく上回った。生徒質問から「先生が良いところを認めてくれる」の質問に肯定的な回答が全国を上回り、伸び伸びと学ぶ環境ができている。

○ 主な課題

・【小学校】
国語では、「読むこと」の領域において、全国・全道と比べて正答率が低い傾向がみられる。目的に応じて必要な情報を選択し、情報同士の関係を捉えて根拠として活用する力や、情報を整理・引用して自分の考えを構成・記述する力に課題がある。

・【中学校】
国語では、全ての領域で全国・全道の平均を上回った。数学では多くの領域で全国・全道の平均を上回ったが、関数においては、平均並みであった。数学的に説明する力に課題がある。

○ 今後の改善方策

・【小学校】
情報を読み取り、整理、関連付ける能力、さらに、読み取った内容を説明し、考えを深められる学習を充実させる。また、今後も時間講師・支援員を配置し学習を苦手としている児童に寄り添った支援を行い、学力の底上げと維持を図る。

・【中学校】
学習アプリを活用し、授業の学びを自己調整して家庭での学びにつなげていく。また、話し合いの場では、異なる意見を安心して表明できる場を作っていき、さらに学習を深めていく。授業時数特例制度を導入し、探求の時間を増やしている。この探求の時間では、考えを整理し、記述するといった表現力を今後も伸ばしていく。